事例No.　施設名称：

REVZO新橋

所在地：　東京都港区西新橋1丁目16番5号

☐ 施工中　事業者：　中央日本土地建物株式会社

☑ 竣工済　設計者：　株式会社竹中工務店東京一級建築士事務所

施工者：　株式会社竹中工務店

1　施設全体概要：

中央日本土地建物グループが展開する中規模オフィスビル「REVZO（レブゾ）」を深化させ、ワークプレイスの快適性向上と脱炭素化社会へ貢献する木造化・木質化オフィス。木質素材の魅力である”柔らかさ”や”温かみ”をワーカーが直接手に触れ、感じられる、快適なワークプレイスを目指した。

2　木造・木質化の概要：

基準階柱の一部に耐火集成材「燃エンウッド」、基準階スラブに「CLTデッキスラブ」という木造化技術を採用。視認性の高い日比谷通り側は、1階を「DLTヴォールト天井」、各階を「執務室天井と軒天の木質化」とすることで、外部からも木造であることがわかる建築とした。

3　建物外観



外観



屋上テラス



エントランス

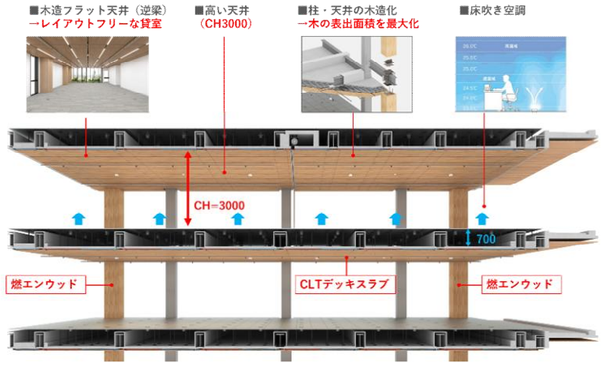
4　施設全体説明：

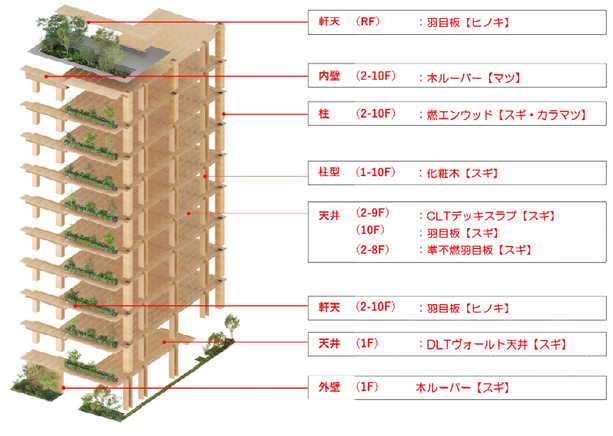
オフィスフロアは「CLTデッキスラブ」と逆梁工法により「梁のないフラットな木天井・レイアウトフリーな貸室」を実現、「REVZO」シリーズの特徴である植栽バルコニーと二面採光により、光・風・緑を感じられる空間を提供する。

■内観



■断面パース





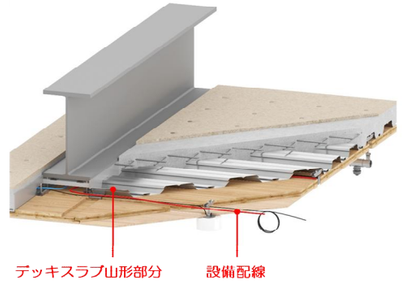
■CLTデッキスラブ

合成デッキスラブとCLTを組み合わせることで構造の合理化を図り、良質な木質空間を提供。大幅なコスト増を伴わずに木使用量の拡大を図る、汎用性の高い技術により実現。



【CLTデッキスラブを設備配線に活用】

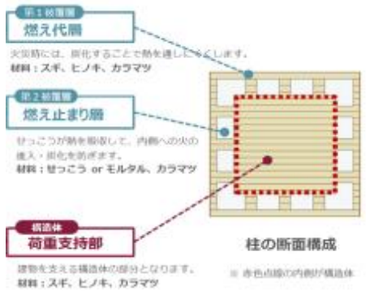
CLTデッキスラブの山部を設備配線ルートとして活用。天井に設備配線が見えない、すっきりしたCLT現し仕上げが可能となる。各山ごとに弱電と強電を分けることで、設備機器の自由なレイアウトが可能となる。



5　木造・木質化の内容：

■耐火集成材「燃エンウッド」

燃エンウッドは、大臣認定を受けた構造部材用の耐火集成材であり、木製の「荷重支持部」、モルタルと木で構成された「燃え止まり層」、純木で作られた「燃え代層」から構成される。



■各部材の木材の産地

【燃え代層】　2-10F：多摩産材スギ

【燃え止まり層】　2-10F：国産カラマツ

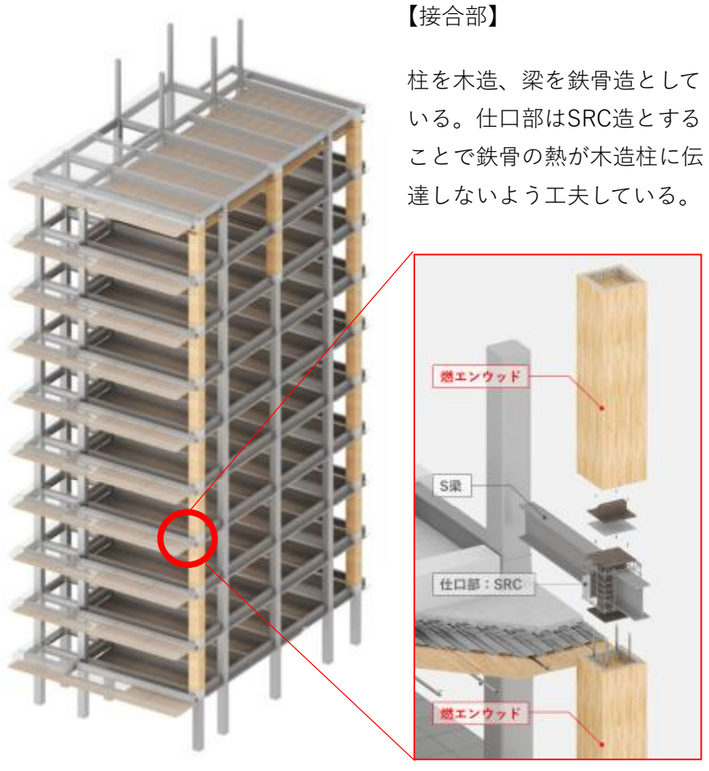
【荷重支持部】　2-6F：国産カラマツ

7-10F：多摩産材スギ

多摩産材スギは、燃エンウッドの「燃え代層」に採用した。また、一部の「荷重支持部」には中央日本土地建物の保有林（山梨県）のカラマツ材を使用しており、国内の森林資源サイクルに寄与する木材活用とした。



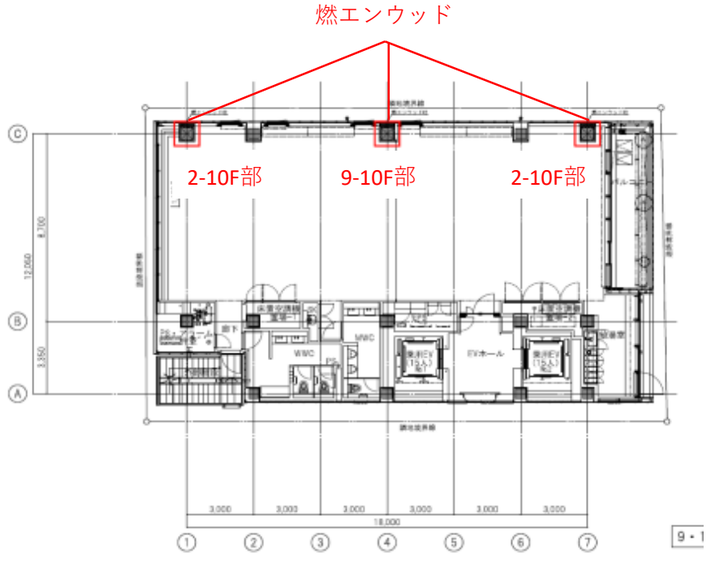
中央日本土地建物の保有林



【接合部】

柱を木造、梁を鉄骨造としている。仕口部はSRC造とすることで鉄骨の熱が木造柱に伝達しないよう工夫している。

【燃エンウッド採用箇所】



6　事業概要データ

名称	REVZO新橋						
所在地	東京都港区西新橋1丁目16番5号						
主要用途	事務所						
施設全体棟数	1　棟	補助対象棟数	1　棟				
補助対象建物階数	地上　10　階	地下　　階	軒高	45.46 m			
敷地面積	338.45　㎡	建築面積	284.37　㎡	最高の高さ	46.06 m		
施設全体延床面積	2627.52　㎡	補助対象床面積合計	378.52　㎡	割合	14.40 %		
補助対象床面積内訳	木造　　㎡	混構造	378.52　㎡				
	一部木造　　㎡	その他木質化	㎡				

建築地の地域区分　☑ 防火地域　☐ 準防火地域　☐ 22条区域　☐ その他地域

建物の防火性能　☑ 耐火建築物　☐ 準耐火建築物（60分）　☐ 準耐火建築物（45分）　☐ その他（　　）

他の補助金の利用状況　☐ なし　☑ あり　（補助金名：　木の街並み創出事業　）

事業スケジュール
- 基本設計　令和4年１０月～令和5年3月
- 実施設計　令和5年4月～令和6年7月
- 建築工事　令和6年7月～令和9年2月

7　構造

主要構造：　鉄骨造　木造　　構造計算ルート：　ルート３

使用構造材・木質化等

	使用箇所	樹種	産地
1	柱「荷重支持部」(2-6F)	カラマツ	国産材（山梨県、長野県）
2	柱「荷重支持部」(7-10F)	スギ	多摩産材
3	柱「燃え止まり層」(2-10F)	カラマツ	国産材（山梨県、長野県）
4	柱「燃え代層」(2-10F)	スギ	多摩産材
5			

8　木材使用量　　材積（㎥）

	構造	内装木質化	その他
国産木材	26.24		
うち多摩産材	15.58		
外材			
合計	26.24		

総国産木材使用量	26.24 ㎥	国産木材使用量/補助対象面積	0.069 ㎥/㎡
多摩産材割合（内装木質化）	0 %	多摩産材割合（内装木質化以外）	59.39 %

9　保存処理木材の使用箇所・種類

燃エンウッド表面・透明性防汚塗料「GAF」

10　木材調達先

多摩産材１	使用箇所・種類	2-10F耐火集成材柱燃え代層、7-10F耐火集成材柱荷重支持部
	購入先事業者名	斎藤木材工業株式会社
	連絡先	0268-68-3811
	多摩産材認証事業者	株式会社ウッデイコイケ
多摩産材２	使用箇所・種類	
	購入先事業者名	
	連絡先	
	多摩産材認証事業者	
国産材１	使用箇所・種類	2-6F耐火集成材柱荷重支持部、2-10F耐火集成材柱燃え止まり層
	購入先事業者名	斎藤木材工業株式会社
	連絡先	0268-68-3811
	多摩産材認証事業者	ー
国産材２	使用箇所・種類	
	購入先事業者名	
	連絡先	
	多摩産材認証事業者	

11　構造部分の施工中写真

6F燃エンウッド荷重支持部

9F燃エンウッド燃え止まり層



7F燃エンウッド燃え代層



9F燃エンウッド建方状況

12　竣工写真



外観



屋上テラス



貸室バルコニー



貸室内観



貸室内観



1Fラウンジ



エントランス